山梨のはちみつ

はじめに

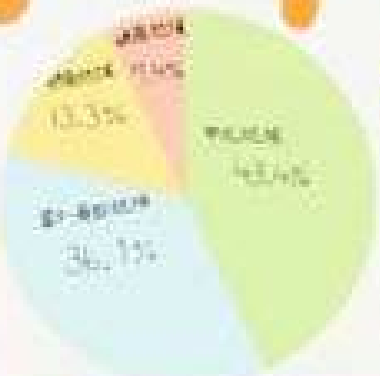
私は今年の夏の自由研究のために、はちみつに興味を持ちました。山梨県は日照時間日本一で、ぶどうが育つ時期が長く、多くの日本ミツバチの養蜂がおこなわれており、蜜源となる花の種類もたくさんあります。そこで、山梨県のはちみつについて調べてみることにしました。

方法

調査期間　令和8年7月1日～令和8年8月31日

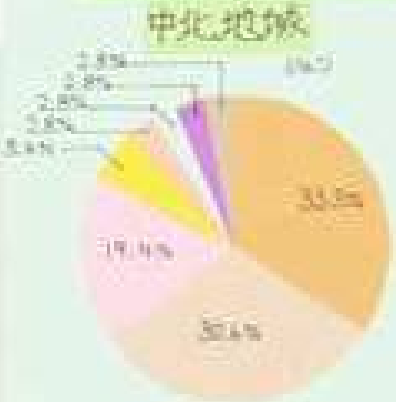
山梨県のいろいろな地域の道の駅などで売られているはちみつの種類を調べてまとめました。

今回調査したはちみつ産地の地域割合





地域別はちみつの種類









百花蜜　アカシア　梨　蕎麦　ミカン　菜の花　ハゼ
ケンポナシ　さくらんぼ　ブルーベリー　ヘアリーベッチ　藤

山梨県で売られているはちみつの種類



まとめ・結果

- 全部で28種類のはちみつがありました。
- 棒グラフにしてみると、一番多かったのは百花蜜でした。花の種類がたくさんある中でも、ブルーベリーやさくらんぼなど、特定の花の蜜が集まりやすいはちみつがあることが分かりました。
- はちみつが集められる地域について調べたところ、山梨県の地域ごとに特徴がありました。
- 中北地域ではハゼのはちみつが多く、富士・東部地域では百花蜜が多くありました。
- 峡東地域では百花蜜とアカシアが多く、峡南地域では百花蜜と梨が多くありました。
- 富士・東部地域では百花蜜とミカンが多くありました。

私は、調べるまではちみつの種類が28種類もあるとは思いませんでした。特に中北地域ではハゼのはちみつが多く、ブルーベリーの蜜であるアカシアのはちみつなど、聞いたことのないはちみつがあることに驚きました。蜜源となる花の種類が多いことが、はちみつの種類が多くなる理由だと思いました。

（参考資料：甲斐ハニー株式会社のホームページ）